



## 資格認定3制度 認定者2万人を超える 認知症看護認定看護師は653人に

公益社団法人日本看護協会（会長・坂本すが、会員数 69 万人）は、「第 19 回認定看護管理者認定審査」「第 23 回認定看護師認定審査」を実施しました。

認定看護管理者は 458 人が受験し、合格者 364 人が新たに認定されました。これにより、総数は 2,664 人になりました。

認定看護師認定審査は 21 分野 1,882 人が受験、合格者 1,763 人が新たに認定され、総数は 15,935 人となりました。その結果、専門看護師数 1,466 人と合わせた 3 資格の認定者総数は 2 万 65 人となりました。本年度の専門看護師認定審査は 10 月末に実施します。

### ◆資格認定 3 制度の認定者数

資格認定	認定者数(人)
専門看護師	1,466
認定看護師	15,935
認定看護管理者	2,664
合計	20,065

本会は認知症への取り組みとして「認知症に強い看護体制づくり」と「認知症の人が安心して暮らせるまちづくり支援」を掲げています。認知症看護認定看護師は、施設や地域での認知症への取り組みのキーパーソンとして、認知症ケア実践をはじめ、教育や看護体制づくりなど、専門性を生かした活躍が期待されています。本年度の認定審査で、**認知症看護認定看護師は 653 人**となり、過去 3 年で約 2.5 倍に増加しています。

報道関係の皆さまにおかれましては、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。

#### 専門看護師とは

本会の専門看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することを認められた者です。実践、相談、調整、倫理調整、教育および研究の役割を果たすことで、健康医療福祉の発展・看護学の向上に貢献します。

#### 認定看護師とは

本会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者です。実践、指導および相談の役割を果たすことで、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上に貢献します。

#### 認定看護管理者とは

本会の認定看護管理者認定審査に合格し、看護管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させる能力を有する者です。多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族・地域住民に対し、質の高い組織的看護サービスを提供することで、保健医療福祉に貢献します。

※日本看護協会の認定制度（専門看護師、認定看護師、認定看護管理者）についての詳細は、本会 HP をご覧ください。<http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/>

## 認知症看護認定看護師の認定・所属状況

### ■認知症看護認定看護師が653人に

認知症看護認定看護師は、超高齢社会の到来に伴う認知症の人の増加に対する看護への社会的な要望を背景に、2004年に分野特定され、06年から認定が開始されました。本年度の認定審査では新たに181人が認定され、認知症看護認定看護師は653人になりました（認定者・教育課程数の推移は図1を参照）。

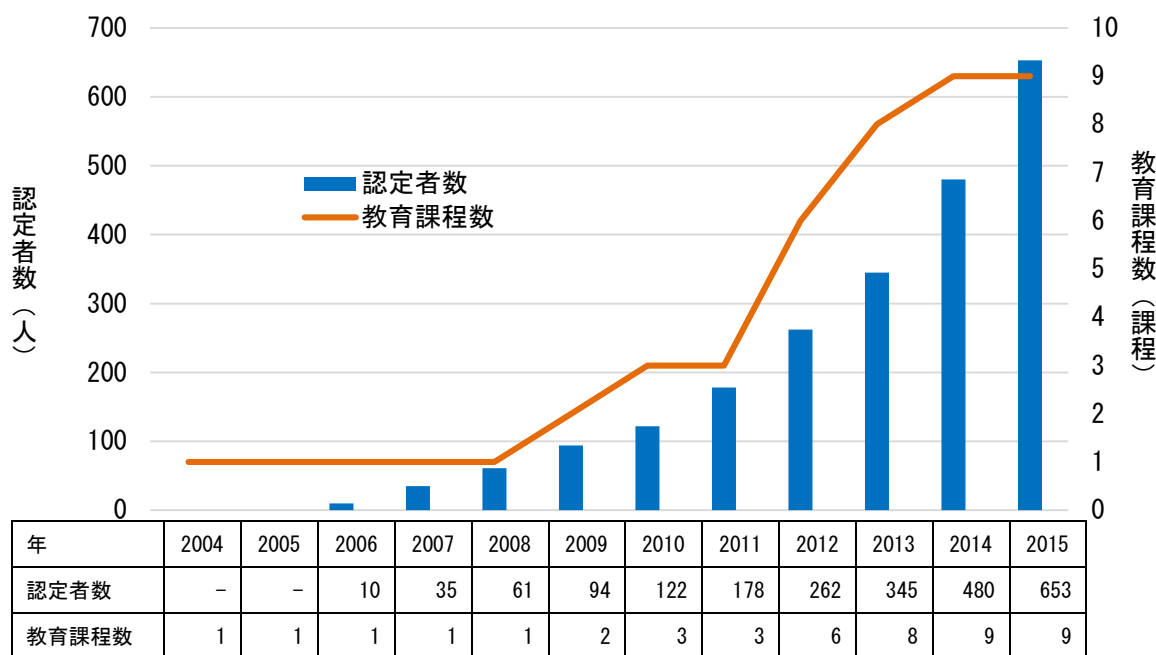


図1 認知症看護認定看護師 認定者・教育課程数の推移

### ■「最も配置したい認定看護師」に認知症看護認定看護師

認知症看護認定看護師は、認知症の各期に応じたケアの実践やケア体制づくり、認知症の行動心理症状の予防や緩和、認知症の人にとって安心かつ安全な生活・療養環境の調整、看護職者に対する指導・相談や、地域におけるケアマネジメントなどを行います。

精神科医療に係る診療報酬上の評価で、2012年に新設された「精神科リエゾンチーム加算」（200点/週1回）の施設基準として、「精神看護関連領域に係る適切な研修を修了した者」を専任の常勤看護師として配置することが規定されています。認知症看護認定看護師はこの適切な研修修了に該当すると評価されています（そのほか老人看護専門看護師、精神看護専門看護師も研修要件に該当）。

また、本会が同年に実施した「病院における看護職員需給状況調査」の結果、看護管理者が「今後、最も配置したい（または配置を増やしたい）認定看護師」は認知症看護認定看護師でした（表1）。

表1 看護管理者が「今後新たに配置したい(または配置を増やしたい)」と回答した認定看護師(複数回答)上位5分野(n=3,392)

分野	件数	割合
認知症看護	1,195	35.2%
感染管理	1,178	34.7%
摂食・嚥下障害看護	1,121	33.0%
皮膚・排泄ケア	948	27.9%
糖尿病看護	817	24.1%

## 全国的に認知症看護認定看護師の養成・配置進む

認知症看護認定看護師の認定者数を都道府県別にみると、2012年時点では42県が「認定者0～10人以下」でしたが、15年は「認定者0～10人以下」が28県まで減少し、全国的に配置が進んでいます。また、「認定者11～20人」が8府県、「認定者21～30人」が4県、「認定者数31人以上」が7都道府県となりました(図2)。

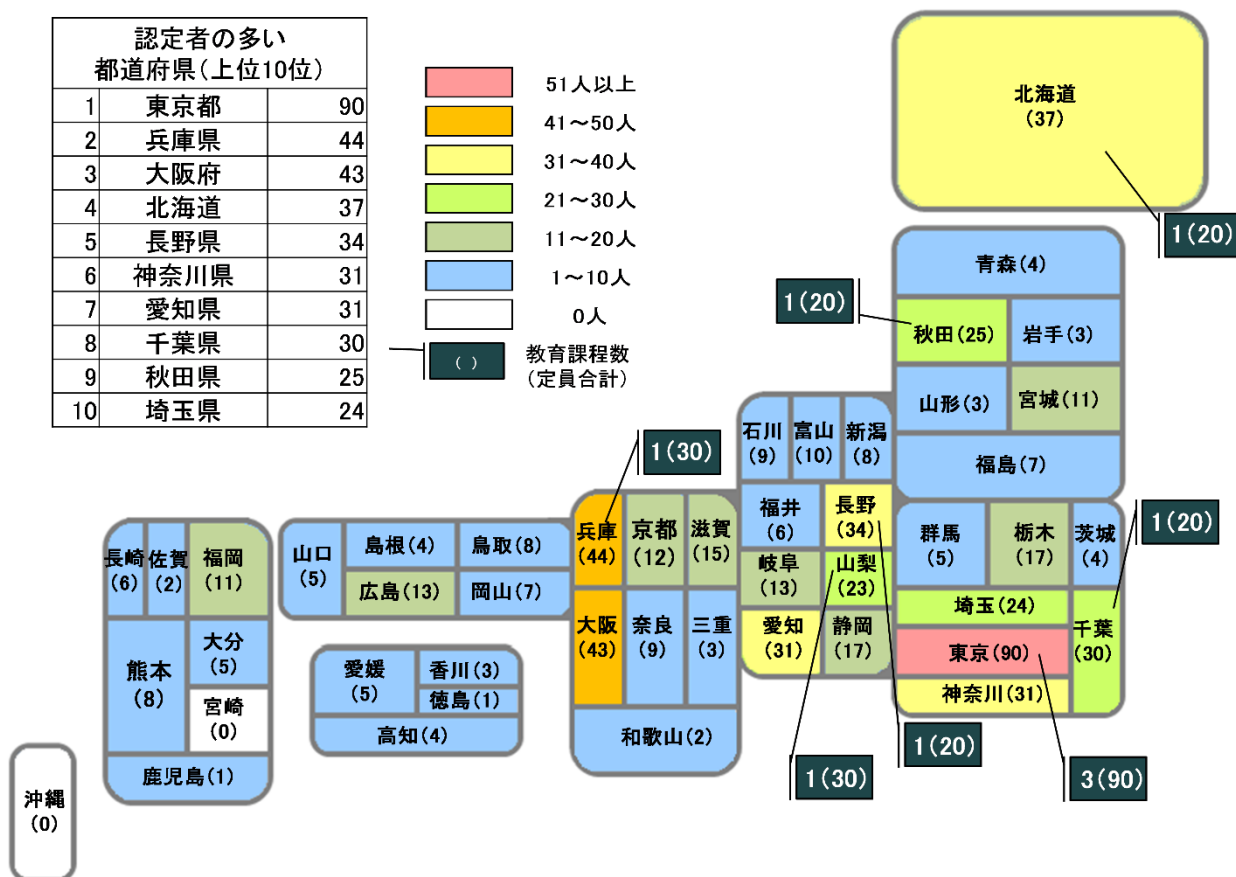


図2 認知症看護認定看護師の都道府県別認定者数(2015年7月)

## ■「介護保険施設等」の所属割合が高い傾向

所属施設別にみると、認知症看護認定看護師が最も多く所属しているのは「病院」で554人（84.8%）、次いで「介護保険施設等」が44人（6.7%）、「訪問看護ステーション」12人（1.8%）の順です。

「介護保険施設等」に所属している割合は、全21分野認定看護師の所属（0.5%）と比較して、6.2ポイント高い割合です（図3）。

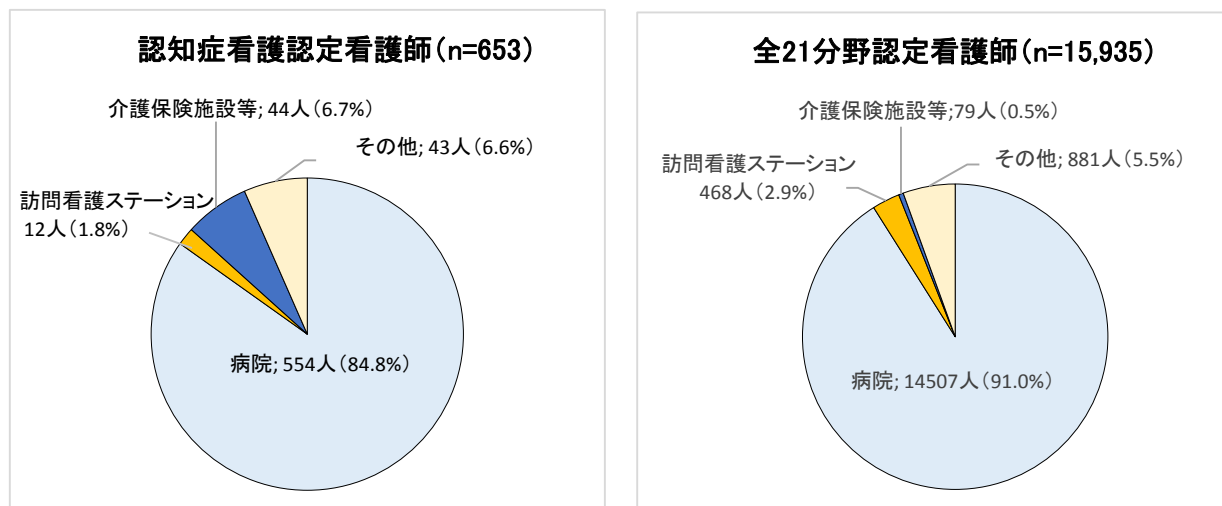


図3 所属施設別登録者数

## ■53%が399床以下の施設に所属

病院勤務者の所属状況を病床規模別にみると、全21分野認定看護師、認知症看護認定看護師とも、最も多いのは「300～399床」の病院です。病院勤務の認定看護師は、全分野では全体の40%が399床以下の施設に所属しているのに対し、認知症看護認定看護師は、53%が399床以下の施設に所属しており、比較的に病床規模の小さい施設にも所属している傾向があります（図4）。

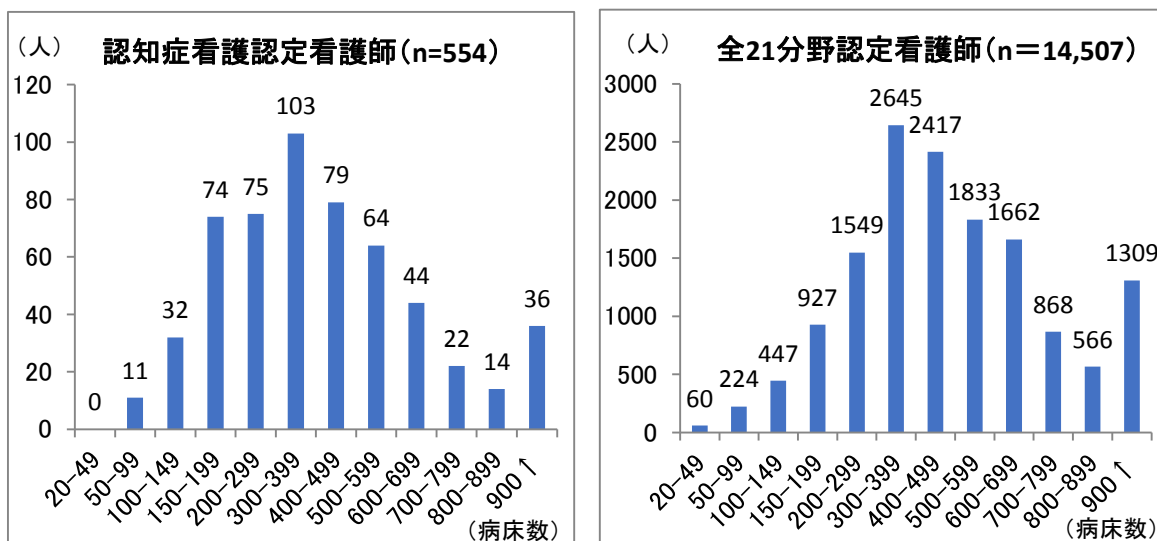


図4 病院に勤務する認定看護師の病床規模別登録数